

# コース15 ひしがだけ こそさんしゅうかい 菱ヶ岳～五頭山周回

リーダー CL K/H SLY/Y  
 実施日 平成30年5月27日(日)  
 天候 晴れ グレード C  
 参加者 19人(男性 8 女性11)  
 コースポイント



ピンク色のミヤマカタバミ

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		6:05	区役所13名、駅西口6名で出発
うららの森	6:35	6:50	トイレタイム
菱ヶ岳登山口	6:55	7:05	身支度と各自準備体操
笹清水	8:35	8:40	7合目、清水の場所は残雪有、急登の始まり
菱ヶ岳山頂	9:45	10:05	休憩、集合写真を撮る
与平ノ頭	10:30	10:35	五頭山と中ノ沢への分岐
三差路	11:57	12:30	昼食
本峰	12:40	12:45	集合写真を撮りすぐ三叉路へ
三ノ峰	13:21	13:25	前一ノ峰、一ノ峰、そして三ノ峰へ
長助清水	14:00	14:05	休憩
どんぐりの森登山口	14:55	14:55	無事下山
うららの森	15:20	15:35	トイレタイム、買い物
駅西口	16:25		予定より約1時間早く到着

## 山行等概要(幹事のコメント)

- これ以上はないと思えるほどの登山日和。  
下見時、駐車場手前のトイレは故障で使用できないため、阿賀野市の商工観光課にお願いして「うららの森」のトイレを早朝に使用できるように開放してもらおう。
- 菱ヶ岳登山口で身支度、各自で準備体操のあといざ出発。乾いて歩きやすい登山道を順調に進む。七合目の笹清水の沢はまだ残雪が有り、危険なため眺めるだけ。上に視線を向けると急登の階段が。いよいよ菱ヶ岳のきつ～い上りの始まり、気合が入る。喘ぎながら登ると山頂到着。ゆっくり休憩をとり、後半に備える。
- ここから、五頭山へ向かう縦走路。長くは続かないがアップダウンの繰り返し。与平ノ頭を過ぎるとピンク色のミヤマカタバミが目を楽しませてくれた。三叉路到着。「ちょっときつ



菱ヶ岳山頂



た」「あとわずかだ頑張ろう」などの声が聞かれた。ここの木陰でランチタイム。この間に、希望者のみで本峰まで足をのばす。

- 昼食後、前一の峰～一ノ峰にそして三ノ峰に到着。ここから、下りが始まる。疲れた足に堪える。長助清水で休憩をとりさらに下り、どんぐりの森登山口に到着。

- Sリーダーの体調不良により急遽、初めてのリーダーを仰せつかり、不慣れなため行き届かなかった点多かったと思いますが

皆様のご協力で、何とか無事終わることが出来感謝します。ありがとうございました。



五頭山本峰

## 菱ヶ岳・五頭山周回に参加して

(1708) K/T

いつも見ている五頭の山並みですが、登るのは2回目。以前の登山との体力差はいかに…。

天气に恵まれ、登り始めは『イカル』のさえずりに見送られて、お喋りしながら楽しく新緑の中を歩き、菱ヶ岳山頂手前の急登では、只、ひたすらに足を持ち上げ、もう少し足の長さが欲しいと思いながら進みました。たどり着いた山頂で、美しいギフチョウがヒラヒラ舞っていて、『お疲れさん』と言ってくれている？ようでした。



楽しいランチタイム

そして、アップダウンもありましたが、遠くの山並みを眺めながらの気持ちいい尾根歩きとヒンヤリとした空気の残雪の上も通過して、五頭の三叉路に到着でした。賑やかにワイワイ昼食休憩して、下りのエネルギー補給をしっかりと済ませました。ここで、ゆったりタイムの人と、山頂までの人としばし別々になり、山頂では通りがかった若者に、シャッターを押して頂き『ありがとう♡』でした。

お腹も満たされ、さあ！どんぐりの森へ！急な階段、まだまだ階段？で気が抜けず、朝から長かったけれど、歩き通せた満足感は、又、格別で楽しい一日でした。

登山道脇に咲いて、元気をくれ楽しませてくれた花々、さえずりながら励ましてくれた鳥たち、一緒に歩いて下さった皆さんに感謝です。ありがとうございました。





五頭山三ノ峰

## ちよっぴり山の知識

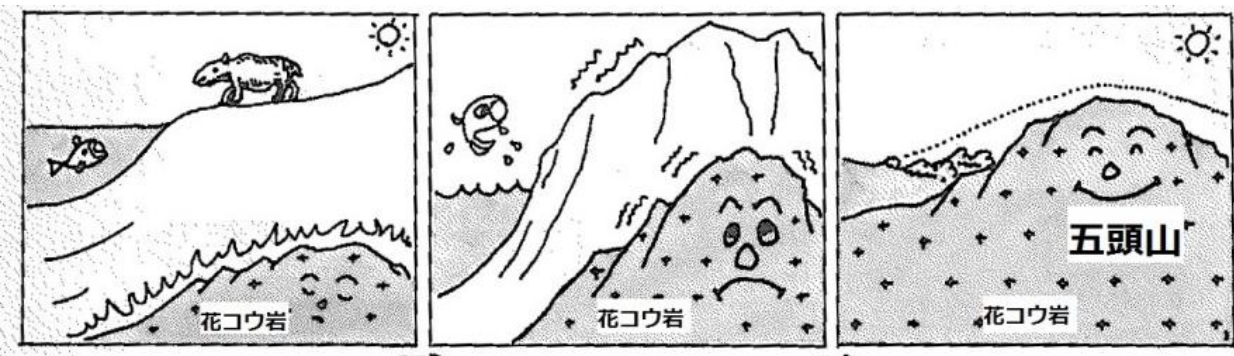
(1676) Y/Y

### 五頭山の正体について

登山道の地面も土だったり、白っぽい砂だったり、地面から大きめの岩が顔を出していたりと変化に富んだ道に出会います。この地面から顔をだしている岩や白っぽい砂の正体は地下深い所にあった花コウ岩が地表に顔を出したものであったり、その後風化されて砂粒になったものです。

地下深い所にできる花コウ岩が地表に顔を見せるようになったわけは何百万年もかかった隆起と沈降を繰り返して花コウ岩の上の堆積物が剥ぎ取られたものと考えられます。

この山は地下深いところにできる深成岩（花コウ岩）が顔をだしている山です。



(五頭山のおいたちー地学ハイキングーより) 図99 花コウ岩が地表に顔を出すまで